モジュール式座位保持装置

Prima

プ リ ー マ

「取扱い説明書」

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。 本書はいつでも見られるように保管して下さい。

本書では、製品「プリーマ」の機能をご理解頂き、正しくお使い頂くための使用方法と、各部の調節方法を解説しています。

必ず使用前に本書をお読み頂き、間違った使用方法をしないようにして、「プリーマ」を快適にご使用下さい。

プリーマ「取扱い説明書」目次

安全上の警告・注意事項
（安全にお使いいただくために）

１. 各部の名前

２. 取扱い方法
調節箇所及び調節範囲

２－１　ティルト角度の調節
２－２　リクライニング角度の調節
２－３　座面の奥行き調節
２－４　アームレストの高さと角度調節
２－５　骨盤パットの幅調節
２－６　胸ベルトの調節
２－７　折りたたみ方法

３. オプションの取扱い方法
３－１　股パットの調節と取り外し
３－２　体幹パットの調節
３－３　傾斜付骨盤後部パットの調節
３－４　腰ベルトの調節
３－５　テーブルの調節
３－６　足台キャスターセットの調節
３－７　ヘッドレストの調節
３－８　カバーの取り付けと取り外し

４. お手入れ方法
４－１　カバーの洗濯方法
４－２　定期的な点検

５. 保証

安全上の警告・注意事項

以下の警告・注意事項を必ず守って使用して下さい。この内容を理解せず間違った使い方をした場合、使用者が重大な怪我や、生命に危険が及ぶことがあります。

「いす以外の目的で使用しない」
：踏み台にする等、座位をとること以外の目的で使用すると、事故や転倒の恐れがあります。また、荷物を置く台として使用すると破損の原因となり、事故や故障につながる場合があります。

「2時間以上連続して座らない」
：２時間以上座り、同じ姿勢を続けていると関節の拘縮や、圧力の集中による褥創（床ずれ）を引き起こす恐れがあります。一旦椅子から降りて横になるなどして除圧し、異なる姿勢をとるようにして下さい。

「不十分な調整状態で使用しない」
：プリーマの調節機能（→P6～P20）を理解し、本人の体格、状態に合せて調節して使用して下さい。身体に合っていない状態で使用した場合、フレームの固い部分が接触するとケガや褥創を起こす恐れがあります。表示している使用者の身体寸法（→P6：調節箇所および調節範囲）を超えて使用しないで下さい。

「平らな床面以外で使用しない」
：傾斜した場所や凹凸のある所で使用すると椅子が不安定になり、転倒する危険があります。特に入浴時に洗い場で使用する場合にはすべりやすいので、安全を確認してから使用して下さい。

「改造・分解しない」
：改造は本製品の安全性を低下させ、破損や事故を引き起こす場合があります。また、調整や洗濯・清掃を行う場合に分解する場合は本書の説明に従って行い、本書に記載された部分以外は分解しないで下さい。

「高温になるところに置かない」
：直射日光の下に置いたままにしないで下さい。金属部分の温度上昇により、やけどをする恐れがあります。

「直射日光の下で使用しない」
：屋外で使用する時は、日陰で使用して下さい。金属部分の温度上昇によりやけどをする恐れがあります。また、使用者が長時間直射日光にあたり、熱射病等の疾病を引き起こす危険があります。

「使用者をのせたままで持ち上げない、持ち運ばない」
：使用者が座ったままの状態で移動しようとすると、フレームの折りたたみ構造が作動し、身体の一部が挟まれたり、転落する恐れがあります。

「調整部分のネジがゆるんだ状態や外した状態で使用しない」
：調整後のネジの締め忘れやクリップピンの止め忘れに注意して下さい。

「折りたたみ方法に従って折りたたむ」
：本書に説明している方法（→P10：折りたたみ方法）以外で折りたたまないで下さい。手や指を挟み怪我をする恐れがあります。また、折りたたむ時にまわりに人がいるときは、そばに居る人の身体の一部を挟まないように注意して下さい。特に小さいお子さんには十分に注意して下さい。

「火気や熱源のそばで使用しない」
：シートは可燃性です。火気や熱源の付近では発火する恐れがあります。また乾燥機、ドライヤー、直火での乾燥は行わないで下さい。

「本体に衝撃を加えない」
：衝撃を加えたり、落下させると性能が低下し、破損や事故につながる恐れがあります。

「定期的な点検・整備を行う」

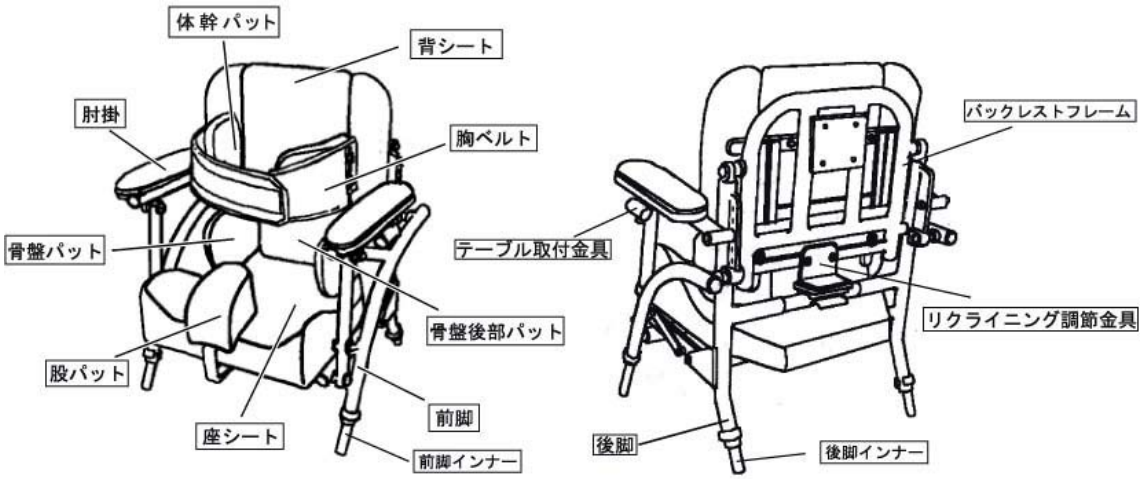
：説明に従い、定期的に点検を行って下さい。破損に気づかなかったり、整備不良のまま使用すると事故やけがを引き起こす恐れがあります。

警告このような場合は、ただちに使用を中止して下さい。

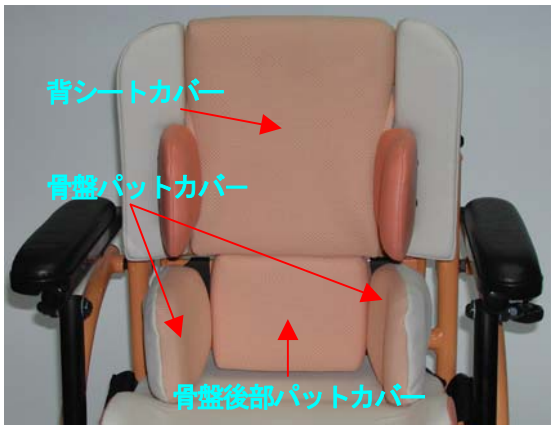
① 使用している方の皮膚に発疹当の異常が見られた場合。
② この椅子の使用によって通常の身体状況とは異なる異常が見られた場合。
③ フレームに異常なガタつきが発見された場合。
④ フレームが歪んだり、パイプにヒビや破損が発見された場合。
また、シート部分に破れなどの破損が発見されたとき。

①、②の症状があった場合は、ただちに医師の診察を受けて下さい。
③、④の状況があった場合は、販売店または総販売元にご連絡下さい。

1 「各部の名称」



「カバーの名称」



※カバーの取り外しについてはP18～P20 を参照して下さい。

2 調整箇所および調節範囲

プリーマには以下の部分に調節機能があり、身体の状態や成長に合せて調整することが可能です。
調節方法をよく読み、適切な方法で調節を行って下さい。

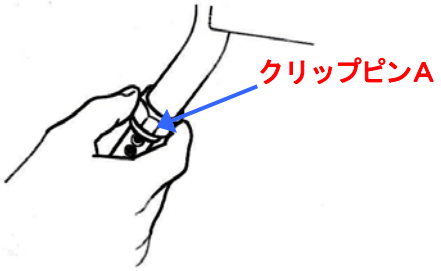
- ティルト角度の調節
- リクライニング角度の調節
- 座面の奥行き調節
- アームレスト(肘掛)の高さと角度調節
- 骨盤パットの調節
- 胸ベルトの調節

各サイズの調節範囲を表に示します。

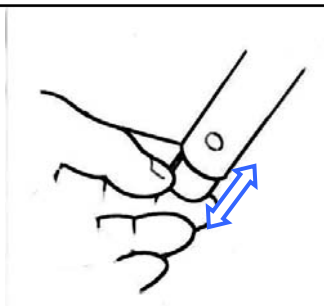
サイズ	S	M
適正身長の目安	80cm～110cm	100cm～140cm
座の奥行き	200～280	250～360
座の高さ	200～250	240～340
座面から肘掛の高さ	160～235	160～235
座と背の成す角度(両面角)	97 度、100 度、103 度	97 度、100 度、103 度
ティルト角度	前傾 5 度～後傾 10 度	前傾 5 度～後傾 11 度
体幹パットの幅調節	155～200	185～230
体幹パットの高さ調節	230～310	230～360
骨盤パットの幅調節	160～240	180～290

2−1 ティルト角度の調節

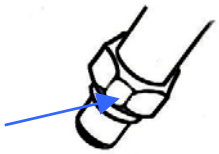
「ティルト」とは座面と背もたれとの角度（両面角）が一定の状態を保ちながらフレーム全体の角度を変化させる方式です。



手順１）クリップピンＡを引き抜きます。



手順２）適当な長さに穴位置を合わせます。
※　後脚の長さを短くすると椅子が後方に傾きます。



手順３）長さが決まったらクリップピンＡをしっかりと差し込み、動かないことを確認して下さい。

※　出荷時には予備の前脚インナー、後脚インナーが同梱されています。
座面高がお子様の身体寸法に届かない場合は、予備の長い脚をご利用下さい。
また、成長に伴って脚の長さが足りなくなった場合も、同様に予備の脚インナーをご使用下さい。

警告

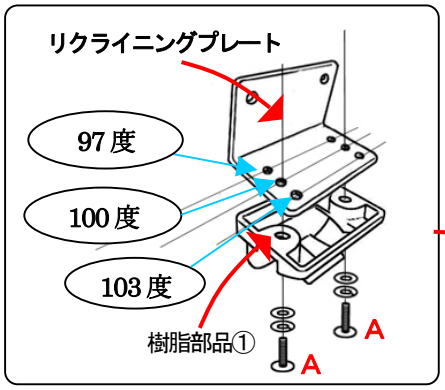
左右の脚の長さが揃っていないと転倒する恐れがあります。

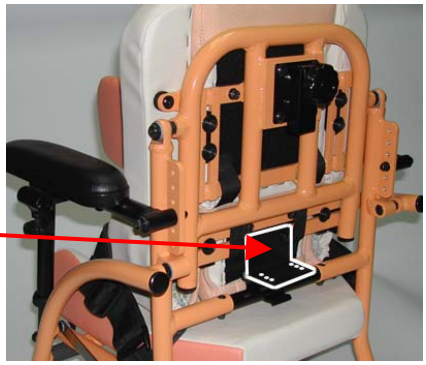
クリップピンが緩んだ状態で使用すると、使用中に急に角度が変わったり、脚が脱落して事故に繋がる恐れがあります。

2−2 リクライニング角度の調節

リクライニング角度の調節は「リクライニングプレート」の 3 段階の穴位置で調節します。

背もたれを起こしリクライニングプレートをフレームから外してドライバーでネジ位置を変更しておこないます。





手順 1)「リクライニングプレート」に取付けた樹脂部品①を止めている 2 本のネジA をプラスドライバーで外します。

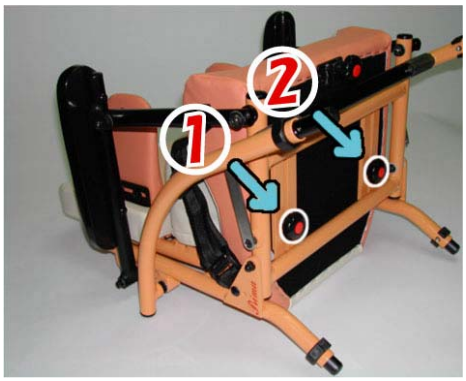
手順 2）97 度・100 度・103 度のどれかに適当な位置に合わせネジAを締め直します。

警告

穴位置を変更した場合しっかりとネジを締めて下さい。ネジが緩んでいると背シートが動き、事故に繋がる恐れがあります。

2−3 座面の奥行き調節

座面の奥行き調節は、座面フレームの2本ノブボルト①②を緩めて調節します。



手順 1）座面の下にあるノブボルト①②を緩め、適当な座面奥行き寸法に調整します。

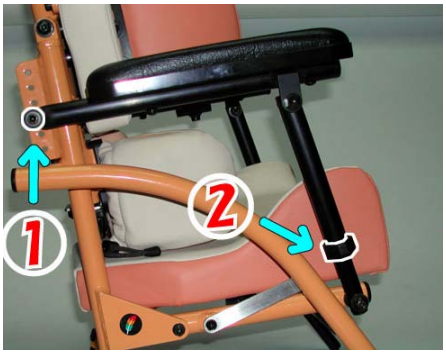
手順 2）位置が決まったらノブボルト①②を締め直します。

警告

ノブボルトをしっかり締めずに使用すると体が不安定になったり座面が外れ転落する危険があります。

2－4　アームレストの高さと角度調節

■　アームレストの付け根部①のネジ止め位置と前方下側のクリップピン②の止め位置で調節します。



手順１）①の六角穴付ボルトを外します。

※　この時、先にボルト①の先端に取り付けてあるナットを外して下さい。

手順２）適当な位置に合せてボルト①を締め直します。

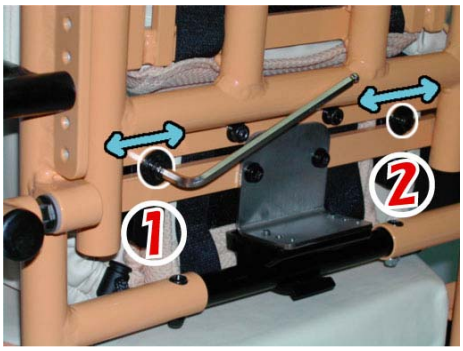
※　この時、ボルト①の先端に外したナットを付け直して下さい。

手順３）前方下側のクリップピン②を外し適当な長さに合わせます。

手順４）クリップピンを再び差し込みます。

2－5　骨盤パットの幅調節

■　骨盤パッドの幅調節は、椅子の背面にあるボルト①②を緩めて行います。



手順１）椅子背面にあるボルト①②を付属の六角レンチで緩め、骨盤パット取り付け位置を左右に調節します。

手順２）取り付け位置を決め、ボルト①②を締め直します。

警告

取り付けボルトの締め付けが不十分な状態で使用するとパッドが外れる危険があります。

2－6　胸ベルトの調節

■　体幹をベルトで保持する時に使用でき、マジックテープで調節することができます。

手順１）マジックテープを剥がします。

手順２）適当な位置に合わせマジックテープを貼ります。

警告

ベルトが短すぎたり長すぎた場合、マジックテープの重なり部分が少なくなり、力が加わった時にベルトが外れ危険です。

2−7 折りたたみ方法

① プリーマを折りたたむには

※ 座面やパッドが付いた状態では、あまり小さくたたむことはできません。

② 前側から骨盤パッドを持ち、前方に引き寄せると、背もたれを上方に回転させる事ができます。

③ アームレストを持ち、上方に引き上げます。

④ 折りたたみ完了

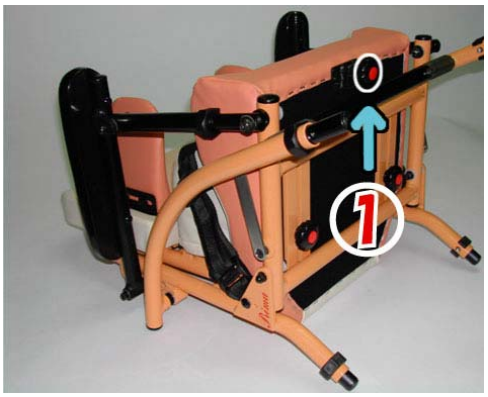
注意

座面の下に手を入れると、開く際に手を挟んでしまい怪我をする恐れがありますので注意して下さい。

3 オプションの取扱い方法

3－1 股パットの調節と取り外し

股パットは股関節を外転位保持する時に使用します。
前後にスライドして調節ができ、取り外すこともできます。



■ 股パットの調節

手順1） 左写真の座面の裏側にある股パット取り付け金具のノブボルト①を緩めます。

手順2） 股パットの前後位置を決めたらノブボルト①を締め付けます。

警告

ノブボルト①の締め付けが不十分な状態で使用しますと、不意に股パットが外れて怪我をする危険があります。

■ 股パットの取り外し

手順1） 上写真の座面の裏側にある股パット取り付け、金具の、ノブボルト①を緩めます。

手順2） 股パットを前方にずらして股パット取り付け、金具から抜き取ります。

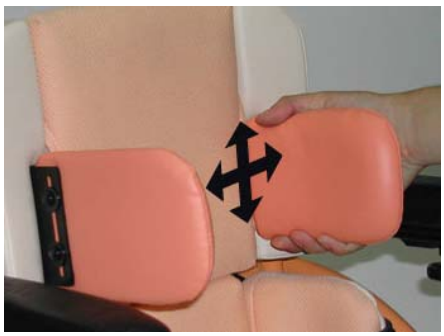
手順3） 股パットを取り外した後、ノブボルト①を締めておいて下さい。（空締め）

注意

空締めを行わなかったり、緩かったりするとノブボルト①を紛失する恐れがあります。

3－2 体幹パットの調節

■ 体幹が不安定な時に使用します。



調節範囲はカタログ裏面を参照して下さい。

■ 取り付け位置の調整の種類

体幹パットの取り付け位置を変更するには以下の2つの調節方法があります。

1 背シート背面からボルトを調整して取り付け位置を調節する。

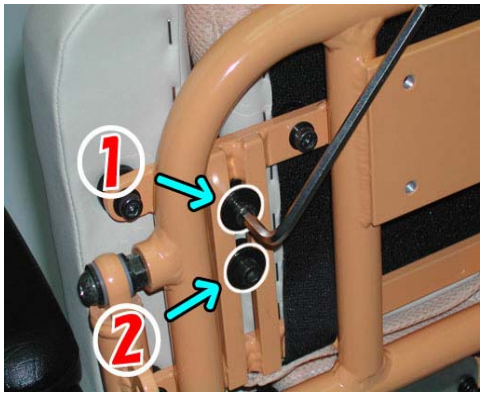
フレーム側の取り付けボルトを調整する事で体幹パットを**上下方向および左右方向**に調節することができます。**（手順は次頁参照）**

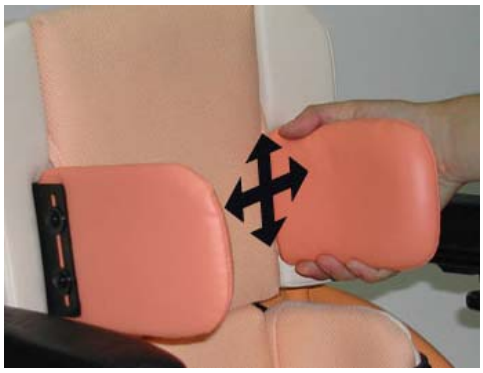
2 体幹パット取り付け金具のパット側で取り付けボルトを調整する。

体幹パット取り付け金具のパット側で取り付けボルトを調整する事で**パット本体を上下**に動かす事ができます。**（手順は次頁参照）**

■ 調節の手順

1 バックレストフレーム側の取り付けボルトを調整して取り付け位置を変更するには





手順１）裏側の「フレームカバー」と表側の「背シートカバー」を外してください。

（カバーの取り外しは P18～P20 を参照）

手順２）取り付けボルト①②を緩めて下さい。

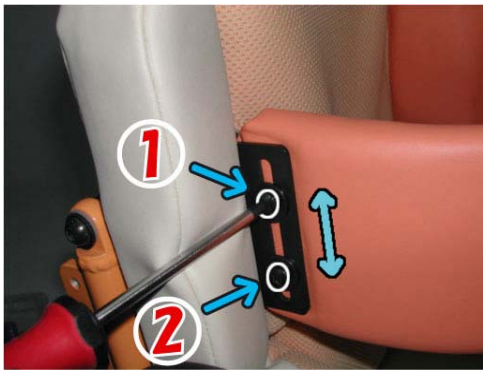
手順３）体幹パットを手で持ち上下左右に動かし位置を調整して下さい。

手順４）取り付け位置を決定したら六角レンチで取り付けボルト①②
を締め付けて下さい。

警告

取り付けボルトの締め付けが不十分な状態で使用するとパッドが外れて怪我をする危険があります。

2 体幹パット取り付け金具のパット側で取り付けボルトを調整するには



手順１）プラスドライバーで取り付けボルト①②を緩めパットを上下に調節してください。

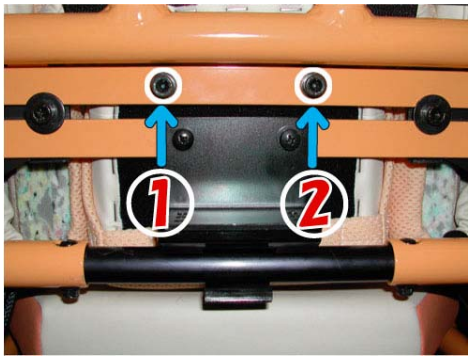
手順２）取り付け位置を決定したらプラスドライバーでボルト①②を締め付けてください。

警告

取り付けボルトの締め付けが不十分な状態で使用するとパッドが外れて怪我をする危険があります。

3−3 傾斜付骨盤後部パットの調節

骨盤を後傾位で支持する為のパットです。傾斜角度は15度と25度が選べます。



手順１）バックレストフレームのフレームカバーを外してください。

（カバーの取り外しは P18～P20 を参照）

手順２）ボルト①②を六角レンチを用いて取り外してください。

手順３）傾斜付パットと交換して六角レンチで取り付けボルト①②を止めなおしてください。

警告

取り付けボルトの締め付けが不十分な状態で使用するとパッドが外れて怪我をする危険があります。

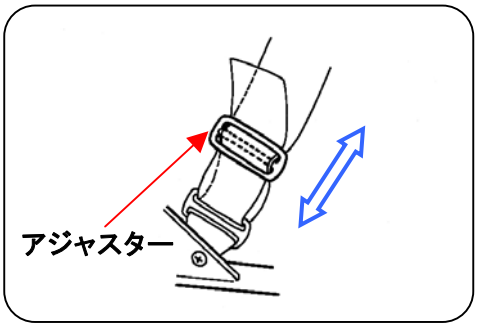
3−4 腰ベルトの調節

■ 腰ベルトの使い方

ベルトのインナークッションが身体側にくるようにして、身体とのすきまがないようにしっかりと固定して下さい。この時、マジックテープがしっかりとついているか確認して下さい。

警告

- **マジックテープによる固定は、重なり部分が少ないと力が加わった時に外れ危険です。**
- **適切な長さに調整してご使用ください。**



■ 腰ベルトの長さ調節

根元部分にある「アジャスター」の位置を調整する事でベルトの長さを変える事ができます。

警告

アジャスターへのベルトの通し方が間違っていると、ベルトがズレやすくなったり外れたりする可能性があり怪我をする危険があります。

3−5 テーブルの取り付け取り外し

手順１） 左側アームレスト裏側にあるノブボルト①を緩めます。

手順２） テーブルステーを「取り付け金具」に差し込みを適当な位置に調整し再びノブボルト①を締めます。

注意

ノブボルトを緩めた状態で使用し続けるとノブボルトを紛失する可能性があります。

警告

ノブボルトを緩めた状態で使用するとテーブルが外れ怪我をする恐れがあります。

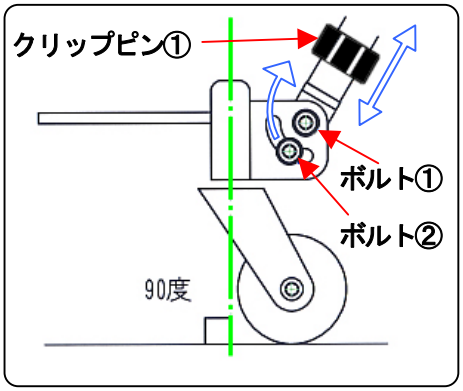
3−6 足台キャスターセットの調節

プリーマの前脚と後脚をキャスターセットまたは足台付キャスターセットに交換する事ができます。

手順１）足台の高さを調節するには、クリップピン①を外し適当な高さに合わせて止めなおしてください。

この時、後ろ脚の長さも同様に調節してティルト角を適当な角度に合わせてください。

手順２）前脚のキャスター角度調節するには、ティルト角を調整した時、キャスターの角度調節を行う必要があります。



注意

図に示す様にキャスターの取り付け軸が床面に垂直にならないと移動する際に方向が定まりにくくなります。

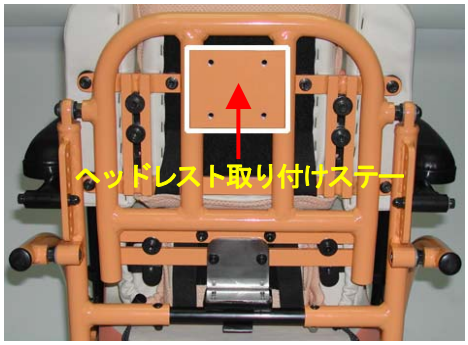
手順２－１）前キャスターのボルト①を緩めます。
手順２－２）キャスターの角度を適当な角度にし、再びボルト①を確りと締め直します。

警告

- **左右の脚の長さが揃っていないと転倒する恐れがあります。**
- **ボルトが緩んだ状態やクリップピンが完全に差し込まれていない状態で使用すると、使用中に急に角度が変わったり、脚が脱落して事故につながる恐れがあります。**
- **前キャスターの軸を床面と垂直にして使用しなかった場合、移動が不安定になり、転倒して怪我や事故に繋がる危険性があります。**

3－7　ヘッドレストの調節

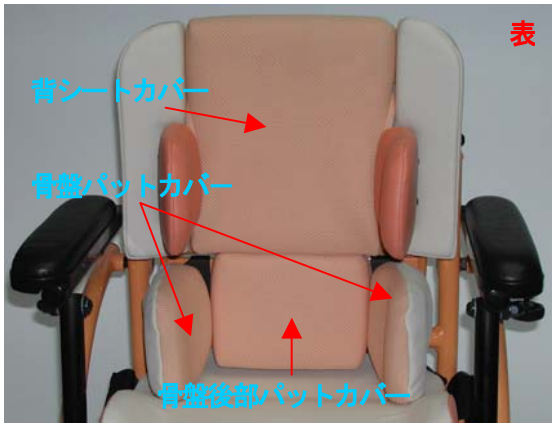
バックレスト背面の「ヘッドレスト取り付けステー」に栃木つくし工房製のヘッドレストを取り付ける事ができます。



※　写真は栃木つくし工房製 1CHO-B を付けた場合です。

3−8 カバーの取り外し

取り外し可能なカバーについて



プリーマではメッシュ生地の「背シートカバー」「骨盤パットカバー」「骨盤後部パットカバー」は外して洗濯する事が可能です。
※洗濯方法については P20 を参照して下さい。

注意

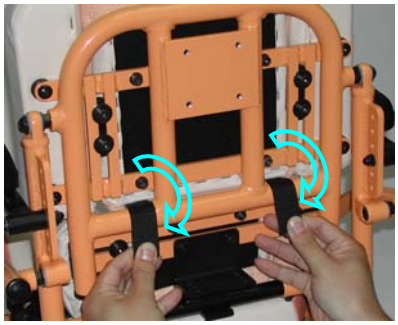
手順と以外の方法で取り外しを行うと、カバーが破れたり破損する可能性があります。

■ フレームカバーの取り外し

手順１）本体裏側の「フレームカバー」の下部のマジックテープを外します。（左右２箇所）

手順２）フレームシートをめくり矢印のマジックテープを外しカバーを外します。（左右２箇所）

■ 背シートカバーの取り外し



手順１）背シート裏側の中央のマジックテープを外します。
（左右２箇所）

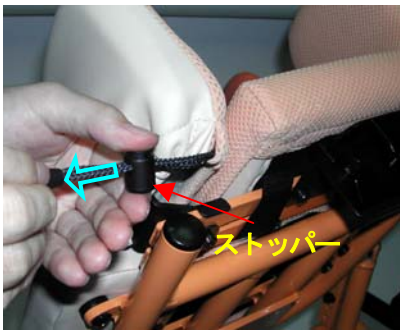
手順２）外したマジックテープを背シートの表側へ引き抜き
カバーを外します。（左右２箇所）

■ 骨盤パットカバーの取り外し

手順１）前側から骨盤パッドを持ち、前方に引き寄せ、背もたれを上方に回転させます。

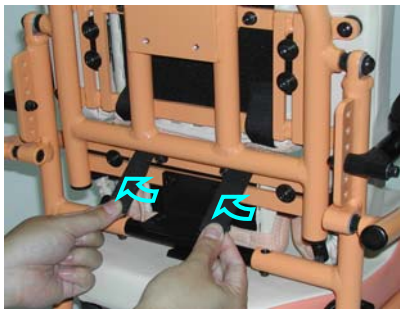
注意

手順以外の持ち方で背もたれを回転させると、手を挟んでしまい怪我をする恐れがありますので注意して下さい。

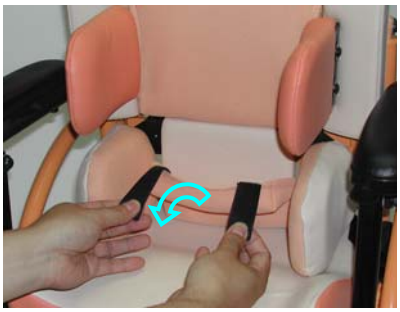


手順２）「ストッパー」のボタンを押してヒモを緩めてカバーを外します。

■　骨盤後部パットカバーの取り外し



手順１）背シート裏側の骨盤パットカバーのマジックテープを外します。



手順２）外したマジックテープを骨盤パットの表側へ引き込み、骨盤パットカバーを外します。

4　お手入れ方法

4－1　カバーの洗濯方法

シートカバーを取り外しての手洗い、または洗濯機で洗濯する方法があります。

注意

ドライクリーニングはできません。

■　洗濯機での洗濯方法

汚れた場合には背シートカバーを取り外し、**洗濯ネットに入れて**洗濯機で洗って下さい。

注意

洗濯ネットに入れないで洗濯をするとシートカバーが破損し、性能を低下させる場合があります。

脱水後は陰干しで乾燥させて下さい。

注意

長時間の天日乾燥を繰り返すとシートが紫外線に焼けて色落ちすることがあります。水分が乾いたらできるだけ早く日陰に取り込んで下さい。

警告

絶対に乾燥機、ドライヤー、直火で乾燥しないで下さい。
熱で発火したり、樹脂部品が破損することがありますので危険です。

警告

シートを取り外して清掃洗濯を行ったときは、取扱い方法に従って必ずもとの状態にして使用して下さい。特にベルトがフレームに架かっていないことがないように、充分に注意して下さい。

■その他部分の清掃

座シートや背シート等ビニールレザー部分が汚れた場合は中性洗剤を含ませた生地で拭き掃除して下さい。

フレーム部分が汚れた場合も同様に中性洗剤を含ませた生地で拭き掃除して下さい。

注意

フレーム部分に付着した食べ物等の汚れをそのままにしておくと、ネジ部分等が錆び調節が出来なくなる恐れがあります。

4－3 定期的な点検

安全にご使用頂くために、以下の内容について定期的に点検を行って下さい。

① ねじのゆるみの点検
② シートの破損の点検

故障に気づいた場合は、使用を中止して販売店または製造元にご連絡下さい。
その際にフレームについているシリアルナンバーをご連絡下さい。

「プリーマ」保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。表記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示の上、販売店にご連絡下さい。

保証規定

1.取扱い説明書にしたがって正常な使用をしていたにも関わらず故障、破損した場合は、お買い上げ日から１年間、無料保証致します。

2.保障期間内でも、次の場合には有料修理になります。

- **使用上の誤りにより故障が生じた場合。**
- **火災、地震、水害、その他の災害などによる故障および損傷。**
- **本書の指示のない場合。**

お客様のお名前	
ご住所	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
販売店（担当者）	
備考：	

※ お手数ですが販売店でご記入下さい。

※ お客様ご相談窓口のご案内

本製品についてご不満、ご要望、ご感想などがございましたら、下記連絡先までご連絡下さい。

テクノグリーン株式会社　お客さま相談窓口

〒5300-0015　大阪市北区中崎西１丁目４番２２号　梅田東ビル

TEL：(06)6371－0104

FAX：(06)6371-6400
E-mail：administration@technogreen. co. jp

無断複写禁。

2007/08/24　第2版